

科目名	CSU (コミュニケーションスキルアップ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岡田弘子
学科・コース	スーパークリエイター科 1年A	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 1	
教員の略歴	2007年度よりCSU講師 日本カウンセリング学会カウンセリング心理士 心療内科非常勤カウンセラー					
授業の学習 内容	1. 社会にデビューするためのトレーニング。 仕事に必要なコミュニケーション力に磨きをかけていきます。 2. 授業でのワーク体験や教科書学習を通して、「CSU検定」合格を目指します。					
到達目標	1. 基本的なコミュニケーション力をアップ！ ⇒話をして自分のことをわかってもらう。また、話を聴いて相手のことを理解していく。 2. 自己表現力をアップ！ ⇒自分が思っていること、感じていること、考えていることをきちんと言葉にして相手に伝える。 3. チームプレイ力をアップ！ ⇒グループで協力し課題を達成する。親しくない人、苦手な人とでも一緒にやっていく。					
評価方法及び基準	1)出席回数 50% 2)ワークへの取り組み姿勢 20%(不適切なスマホいじりなど、目に余るマナー違反は減点) 3)振り返り試験(後期最終日に実施) 30%					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義 集団演習	<自己紹介ワーク>クラス仲間と交流する。 「10の基本スキル」をチェックする。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
2	5月9日	講義 集団演習	<クラスの理解>仲間のことを知る。 グループ会話を体験する。CSUアンケート	
3	5月23日	集団演習	<名画鑑賞>協同作業を体験する。 作品のタイトルとイメージを発表する。	
4	6月13日	講義 個人演習	<エゴグラム>心の構造とその特徴を知る。 自分の良いところを見つける。	日常の自分の行動を振り返る。
5	6月27日	集団演習	<なぞの玉島>情報をまとめて課題を達成する。 チームワークを体験する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
6	7月11日	講義 集団演習	<アサーション>適切な自己主張を理解する。 上手な頼み方・断り方を学ぶ。CSUアンケート	自己表現と他者への関わりを振り返る。
7	8月29日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義①>教科書学習。 「基本的対話スキル」を学ぶ。	教科書P8～P40を予習・復習する。
8	10月10日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義②>教科書学習。 仕事に役立つ「自己表現スキル」を学ぶ。	教科書P41～P92を予習・復習する。
9	10月24日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義③>教科書学習。 就活や仕事に必要な「社会的スキル」を学ぶ。	教科書P93～P124を予習・復習する。
10	11月7日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義④>教科書学習。 顧客への「サービスマインド」を学ぶ。	教科書P125～P157を予習・復習する。
11	11月21日	集団演習	<砂漠で遭難！>コンセンサス(意見の一致・ 全員の合致)のとり方を体験する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。
12	12月5日	集団演習 講義	<バスは待ってくれない>協同作業を通して、 集団でのリーダーシップ機能を学ぶ。	
13	12月19日	集団演習	<おもしろ村>情報をまとめて課題を達成する。 チームワークを振り返り発表する。	
14	1月16日	個人演習	CSUの振り返り～記述試験 CSUアンケート	CSUで経験したことを思い出す。
15				
準備学習 時間外学習		様々な人と交流しながら、社会デビューに向けてのコミュニケーション力を身につける。		
【使用教科書・教材・参考書】				
教科書「コミュニケーションスキルアップ検定」 CSUオリジナルワークプリント				

科目名	クリエイティブワーク1-B	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松前憲二
学科・コース	スーパークリエイター科昼-1年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	グラフィックデザイナー、イラストレーター、キャラクターデザイナー、アートディレクター、クリエイティブディレクター、アーティストなどを経て、現在企画デザインとキャラクター戦略の会社を営む						
授業の学習 内容	クリエイティブな仕事をするためには、他者の意見を取り入れたり、自分の考えを明確に伝えることが必要になります。いくら絵が上手くなっても、それを活かさない意味がありません。コミュニケーションだけでなく、コンセンサスを図れるようになるための授業です。 この授業は全ての科目と関係します。そしてフリーランスは、もちろん。ゲーム会社やデザインの会社などモノづくりの職に従事するために必要です。 他者と意見を交わし、自ら問題を発見し、仲間で解決できるようになってもらいます。 授業はアクティブラーニング(グループ授業)方式です。具体的な内容として前期は、グループの話し合いでマスコットキャラクターづくりのコンセプトを決め、キャラクターを考え、分担作業で企画書づくりとプレゼンテーションを行います。 各グループごとで進行するので、講義の内容変更や順番は変わります。時々テストや進行レポートを実施します。						
到達目標	仲間とのコンセンサス(意見や考えの一致・合意)をとれるようになる。 マーケティングのことや、コンセプトの作り方を覚える。 グループでひとつの企画書をつくり、うまく伝えるためのプレゼンテーションができるようになります。 グループ内での自分のポジションを見つけることができる。 社会の仕組みや企業の仕掛けを知り、自分の進むべき方向性を見つけられる。						
評価方法及び基準	①グループでつくる企画書40% ②グループのまとめり15% ③グループでプレゼンテーション15% ④個人の小テスト15% ⑤個人のレポート15% 企画内容を一番に重視し、グループのまとめりと進行状況でコンセンサスが図れているか判断します。 プレゼンテーションは分かりやすさを重視します。 小テストは個人的に授業で話す内容を理解しているかを判断し、レポートは社会の理解を深めているかの確認をするとともに、プレゼンテーションの練習課題とも考えています。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	2023/0/00	説明・議論	○授業の説明 ○前期グループづくり ・グループをつくるための議論→グループ決定 ○用意するもの＝授業専用ノート(メモタイプ不可A5サイズ推奨)	
2	2023/0/00	同上	●ニュース発表の解説 ●講義/キャラクターのことがわかる。(3週) ●講義/社会と自分がわかる。マーケティングとクリエイター(毎週) ○グループ名などを決める ○マスコットキャラクターを持ってない団体を探す。	●ニュースレポート提出 ●キャラクターアイデア①(練習課題)
3	2023/0/00	同上	●講義 ■課題の企画進行①団体を決める②団体の業界を知る③業界の中で団体の差別化④ターゲット⑤団体の本質的ニーズ⑥キャラクターのコンセプト⑦キャラクターの展開⑧企画書の手配⑨キャラクター制作⑩企画書にまとめる⑪プレゼンテーション…グループごとの進行 ■進捗レポート	●ニュースレポート提出 ●キャラクターアイデア②(練習課題)
4	2023/0/00	発表・講義・議論	■ニュースの発表① ●講義 ■進捗レポート	●ニュースレポート発表・提出 ●キャラクターアイデア③(練習課題)
5	2023/0/00	同上	■ニュースの発表② ●講義 ■進捗レポート	●ニュースレポート発表・提出
6	2023/0/00	同上	■ニュースの発表③ ●講義 ■小テスト	同上
7	2023/0/00	講義・議論	企画書作業	●ニュースレポート提出 ●団体企画キャラクターアイデア
8	2023/0/00	同上	同上	同上
9	2023/0/00	同上	同上	同上
10	2023/0/00	同上	同上	同上
11	2023/0/00	同上	同上	同上
12	2023/0/00	同上	同上	同上
13	2023/0/00	同上	●企画書提出	プレゼン準備
14	2023/0/00	発表	●プレゼンテーション	採点
15				
準備学習 時間外学習			●新商品などのニュースのレポートを毎週提出。その他キャラクターに関する提出物	
【使用教科書・教材・参考書】				
●授業内容説明資料 ●ニュースレポート ●Key noteによる教材 ●その他全てオリジナル資料 ■専用ノートを各自用意(A5程度)				

科目名	デッサンⅡB	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北山翔一
学科・コース	スーパークリエイター科昼-2年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 (2)		
教員の略歴	東京藝術大学美術研究科博士後期課程彫刻研究領域修了。彫刻作品の制作、発表を行っている。						
授業の学習 内容	「デッサン力とは何か」を絵を描くことを通じて考えていきましょう。上手い/下手にとらわれずに、作品制作を「楽しむ力」、作品を良くするための「ものの見方」、「判断する力」を付けましょう。最終的に「デッサン」と「イラスト」がどう関連づけられるのか、みなさんの考えが聞けたら嬉しいです。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> モチーフのあり方、それらしさを的確に捉えられる（プロポーションの把握と表現）。 立体的なものの観察方法を身につける（光と陰影、奥行き把握と表現）。 モチーフの質感に迫る描写に挑戦する（固有色の把握と細部描写）。 積極的にデッサンを描き、直すことができるようになる（作品密度と精度にこだわる、判断力）。 						
評価方法と基準	<p>希望者以外は基本的には個別講評を行い、以下の基準で評価します。日常的に描き溜めたスケッチブック等も提出可能。加点の対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作を楽しめているか（絵の魅力） 積極的に授業に取り組めたか（出席数） デッサンとしての完成度（作品の精度） 的確に自己評価できるか（判断力とコミュニケーション力） 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	1年次のイラスト作品ディスカッション/自己紹介/講義「デッサン力って何よ(仮)」	クロッキーや模写といった日常的なトレーニング
2	/	講義、実習	デッサンの構図、エスキースについて	クロッキーや模写といった日常的なトレーニング
3	/	実習	静物デッサン①（構図と比率）	クロッキーや模写といった日常的なトレーニング
4	/	実習	静物デッサン②（構図と比率） 講評	クロッキーや模写といった日常的なトレーニング
5	/	実習	ドローイング演習 手（動きとプロポーション） 講評	クロッキーや模写といった日常的なトレーニング
6	/	実習	ドローイング演習 友人クロッキー（動きとプロポーション） 講評	クロッキーや模写といった日常的なトレーニング
7	/	実習	ぬいぐるみ①（細部と質感）	クロッキーや模写といった日常的なトレーニング
8	/	実習	ぬいぐるみ②（細部と質感） 講評	クロッキーや模写といった日常的なトレーニング
9	/	実習	写真模写①（陰影と固有色）	クロッキーや模写といった日常的なトレーニング
10	/	実習	写真模写②（陰影と固有色） 講評	クロッキーや模写といった日常的なトレーニング
11	/	講義、実習	自画像について/自画像①（総合）	クロッキーや模写といった日常的なトレーニング
12	/	実習	自画像②（総合） 講評	クロッキーや模写といった日常的なトレーニング
13	/	実習	友人デッサン①（総合、応用）	クロッキーや模写といった日常的なトレーニング
14	/	実習	友人デッサン②（総合、応用） 講評	クロッキーや模写といった日常的なトレーニング
15	/	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			普段から、好きなマンガ、ゲームなどのイラストだけでなく、ファインアートの絵画なども、好きな作品を言えるようにリサーチしてみましょう。絵画の影響を受けているイラストレーションは少なくないはずです。	
【使用教科書・教材・参考書】 デッサン道具一式(鉛筆5H～5B、ねり消しゴム、カッター、クロッキー帳)				

授業名(時間割表記)	デッサンⅢC	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	荒井
学科・コース	スーパークリエイター科昼-3年A	授業形態	実技	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	長年TCAのデッサン講師を務める						
授業の学習内容	デッサンはあらゆるビジュアル表現の基礎、たくさん描き画力をつける						
到達目標	様々な対象を時間に応じた描き方を習得する。密度の高い絵と素早く描くクロッキーを描けるようになる						
評価方法と基準	課題評価点数						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/16	実習と講義	幾何学形態+ α を描く1 直方体	図学遠近法の復習
2	4/23	実習	幾何学形態+ α を描く2 回転体	図学遠近法の復習
3	5/7	実習と講義	風景画を描く 1、2点透視図法	近所の風景を描こう
4	5/14	実習	風景画を描く つづき	風景写真の模写
5	5/21	実習	工業製品を描く1 図学遠近法の実践	日用品を描こう
6	5/28	実習	工業製品を描く2 図学遠近法の実践	日用品を描こう
7	6/11	実習	自画像または身体パーツを描く	観察スケッチ
8	6/18	実習	クラスメートを描く プロポーションと表情	人物写真の模写
9	6/25	実習と講義	ヌードクロッキー 身体のプロポーション	家族や友人をクロッキー
10	7/2	実習	自然物の描写1 野菜など 質感表現	野菜果物を描こう
11	7/9	実習	自然物の描写2 花など 質感表現	野菜果物を描こう
12	7/16	実習と	セミヌードクロッキー 身体のプロポーション	人物写真の模写
13	8/27	実習	石膏デッサン 陰影法と肉づけ法	陰影法のトレーニング
14	9/3	実習	石膏デッサンつづき	陰影法のトレーニング
15	/		評価週	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作	
【使用教科書・教材・参考 鉛筆セット カッターナイフ 練り消しゴム (クロッキー帳)				